

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

## 平成29年 **4**月の**安らぎ**通信



### 淀川決壊 ミナミも浸水 地下鉄盲点 避難見直し

- ・昨年8月、近畿地方整備局や大阪府・市などで行った検討会が公表した水害対策のガイドライン案は、防災関係者に波紋を広げました。
- ・想定される最大の降雨で淀川に近い堤防が決壊した場合、浸水は大阪市都心の南部の心斎橋、難波地区にも広がるとの想定。
- ・「大阪市地下空間浸水対策協議会」は、都心北部の梅田を中心に被害を想定し対策を策定していました。
- ・地下鉄を通じてキタからミナミに洪水が押し寄せます。堤防決壊から3時間後に梅田の地下街が浸水。9時間後には心斎橋の地下街、10時間後には難波が浸水します。
- ・淀川が決壊すると、洪水の水位は地上4mに達する恐れ。協議会はビル3階以上への避難誘導を打ち出しました。

(2017年3月3日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



### 「被災時の計画ある」45% 災害拠点病院、策定に遅れ

- ・全国に約700ある災害拠点病院のうち、災害時に医療活動を続けるためのマニュアルを整備済みの施設が45%にとどまっています。
- ・マニュアルは事業継続計画（BCP）と呼ばれます。
- ・未策定の393（55%）のうち、177が策定中。「予定なし」は16。

(2017年3月7日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



### 震度6強24%倒壊も 震災6年 なお脆弱

- ・旧耐震基準の大規模建築物の診断によると、震度6強以上の地震で24%に倒壊の恐れ。
- ・震度6強以上の地震で倒壊する危険性が「高い」建物が14%、危険性が「ある」が10%。

(2017年3月12日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781